

令和6年3月4日

保護者の皆様

千葉市立稲浜小学校
校長 平川 紀子

令和5年度 学校評価アンケート(後期)まとめについて

保護者の皆様には、ご多用の中、学校評価アンケートへのご協力をいただきありがとうございました。集計結果がまとまりましたので、ご報告いたします。結果は、次年度の学校運営の参考とさせていただきます。なお、保護者の回答数は191(児童数216名)で、回答率は88.4%でした。

児童用の質問内容		児童全体	低学年	中学年	高学年	保護者	教職員
「たのしく(知)」							
1	学校での学習に、一生けんめい取り組んでいますか。	3.7	3.7	3.7	3.6	3.4	3.6
2	自分の考えや思ったことを、進んで伝え合ったりノートに書いたりしていますか。	3.4	3.3	3.5	3.3	3.4	3.5
3	ギガタブやコンピュータを使って、楽しく学習に取り組んでいますか。	3.7	3.7	3.7	3.6	3.1	3.1
4	家庭で毎日進んで学習をしていますか。	3.4	3.5	3.3	3.3	2.9	3.2
「なかよく(徳)」							
5	友達や家族、地域の方などに進んであいさつをしていますか。	3.6	3.7	3.6	3.5	3.3	3.3
6	いじめをせず、友達に優しくしたり友達と仲良くしたりしていますか。	3.8	3.8	3.8	3.8	3.5	3.6
7	みんなが気持ちよく生活できるよう、進んで考えたり行動したりしていますか。	3.6	3.6	3.6	3.5	3.6	3.5
「元気よく(体)」							
8	進んで運動をしたり外遊びをしたりしていますか。	3.4	3.8	3.5	2.7	3.4	3.1
9	好き嫌いをせず、栄養バランスに気をつけて、食事をしていますか。	3.5	3.5	3.5	3.4	3.2	3.4
10	心と体が元気に過ごせるよう、生活の仕方に気を付けていますか。	3.6	3.7	3.8	3.2	3.4	3.5
「開かれた学校」							
11	学校だよりや学年だより、学校HP等によって、学校の教育活動を積極的に発信していると思いますか。					3.4	3.3
12	いじめ・不登校の未然防止や早期発見、早期対応などに適切に取り組んでいると思いますか。					3.2	3.5
13	児童が安全・安心に生活できるよう、安全対策に努めていると思いますか。 (交通安全・防災・不審者・性被害など)					3.4	3.4
14	連絡帳や電話連絡などを通して、適切に家庭と連携していると思いますか。					3.3	3.5

今回の学校評価アンケートは、児童の自己評価項目を基本に、保護者用は児童の成長の見取りを、教職員用は自身の指導の振り返りをそれぞれの項目として行いました。以下の考察をもとに、子どもたちにとって価値のある充実した教育活動が推進できるよう、全教職員で努めてまいります。今後ともご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

- 水色で表示してある部分・・・前期と比較して、0.1上回るもの
- 濃い青で表示してある部分・・・前期と比較して、0.2以上上回るもの
- ピンクで表示してある部分・・・前期と比較して、0.1下回るもの

「たのしく(知)」について

児童の自己評価が、前期同様高い傾向にあり、学習に対して意欲的、主体的に取り組もうとする姿勢が身につけていることがわかります。特に後期は、〈②表現力〉の項目において、児童・保護者・教職員ともに大きく伸びが見られました。本校では、「自分の言葉で伝え合える力の育成」を学校教育の柱の一つと位置付けておりますが、これからの時代を生きる子どもたちにとって、学習で知識を身につけるだけでなく、それをもとに筋道立てて考えたり、資料や情報を活用して自分の言葉で表現したりすることができる力を身につけることは、とても大切になってくると考えています。引き続き、効果的な指導法を研究するとともに、毎日の授業を大切にしながら児童の成長を支えられるよう努めてまいります。

〈④家庭学習〉については、保護者の見立てが前期同様2.9ポイントとやや低い評価となりました。学校では自主学習の取組を奨励し声かけをしてきましたが、確かに継続的に取り組む児童ばかりとは言えない実態となっております。放課後の時間の使い方はそれぞれのご家庭で異なり、習い事等で忙しくされている場合もあると思いますが、家庭で机に向かい学習に取り組む時間を確保することは、自ら主体的に学ぼうとする姿勢を育むための大切な機会であると考えます。学校では、家庭学習の大切さについて周知するとともに、スタンプカードや賞状等を通して引き続き自主学習の推進を図ってまいりますので、ご家庭でも家庭学習の習慣化に向けたお声がけをどうぞよろしくお願い申し上げます。

「なかよく(徳)」について

この項目も、児童の自己評価が非常に高くなりました。特に〈⑥思いやり〉が3.8ポイントと、前期同様全項目中一番良い評価となっていることは、稲浜小学校のすばらしさを端的に表していると考えます。ここからは、学級活動やふれあい活動、学校行事等を通して、集団の中で望ましい人間関係を築こうとする態度が育ってきたことがうかがえます。今後も、学級や学年、学校の中で子どもたちが安心して過ごせる環境を確保できるよう努めるとともに、心身の調和のとれた発達やよりよい集団づくりが図られるよう、子どもたちの主体性を大切にしたい指導や支援を心がけてまいります。

「元気よく(体)」について

〈⑧進んで運動〉の項目については、前期に課題として挙がっていたため、その改善に向け、体育の学習を工夫したり体育委員会で「縄跳び月間」や「投力アップのための取組」などの企画を休み時間に行ったりすることを通して、運動機会の確保と体力向上を図ってまいりました。今回の評価からは十分な成果があったとは言えない部分もありますが、引き続き、運動に主体的に取り組める環境を整え、運動する楽しさを味わわせていきたいと考えます。また、養護教諭や主任栄養士、スクールカウンセラーなど、教員の専門性を生かしながら子どもたちの心と体の健康を支られるよう、支援に努めていきます。

「開かれた学校」について

前期に比べ、保護者の評価が改善傾向となりました。子どもたちが健全に育っていく上で、学校・家庭・地域の連携は欠かせないものだと考えます。引き続き、学校での取組をお知らせする機会を工夫しそれぞれと連携を図ることで、保護者や地域の皆様に信頼される学校づくりをより一層推進していきたいと考えます。